



Agrosup Dijon, University of Burgundy

●学部学生 約16,800人 ●大学院生 約10,700人 ●教職員 約2,900人

ホームページ <http://www.agrosupdijon.fr/en/>

交流協定締結年月日：2010年6月1日 主管学部：農学部



ディジョン市内のメインキャンパス



学生実験の様子

国際交流の特色

ブルゴーニュ大学Agrosup Dijon校は、食品科学・工学の3年間およびPh.D.コース3年間の教育研究機関であり、フランス全土から2年間の大学（もしくは大学相当）の基礎教育を受けた学生が入学している。母体のブルゴーニュ大学は学生数約27,500人、教職員数約2,900人の大規模総合大学である。Agrosup Dijon校は学内での教育のみならず、在学3年間に約5ヶ月間のインターンシップ（研究および企業実務）を経験することを必須としており、「知と実践の融合」を掲げる本学の意図と極めて良く一致している。国際交流も活発であり、約59の海外の大学との交流を実施している。

交流実績（平成30年度～令和2年度）

年度	H30	H31	R2
受入・派遣			
学生の受入	3	1	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者 (本学)			0
オンライン交流参加者 (相手機関)			0



小豆島での研究室セミナー

教員からの声

ブルゴーニュ大学からの国際インターンシップ学生を毎年1-2名、半年間受け入れてきました。この学生交流、及び研究交流を香川大学において継続するとともに、香川大学のより多くの領域の学生、研究者交流を期待して、平成22年度に交流協定を締結しました。平成25、26年度も2名の学生が、香川大学農学部にて、機能性食品粉末に関する研究に従事しました。香川県もフランスとの交流に乗り出しています。フランスの学生との交流を活発に行いたいと考えています。

農学部准教授 米倉 リナ

留学生からの声

I came to Kagawa University for a 5-month internship in research. Professor Tamura and his team welcomed me in their laboratory. They taught me some process and how to use several machines for analyses (high performance liquid chromatography). They also told me how to run a research subject especially with experimental plans. Thanks to their patience and their help, I have learnt a lot about the research field.

Marie Carroubi (2015年 AGROSUP DIJON)